

## 富士テクノソリューションズ(2336)

2018/3期は利益率を高め大幅増収増益へ！

## TOKYO PRO Market | サービス | 会社紹介

BLOOMBERG 2336 JP | REUTERS 2336.T

- 主に3次元のCADを使い、メーカーのニーズに応じてPCで製品の設計、解析、データ変換などの技術・製品を提供している。また、IT関連の技術者派遣、ハードウェアとソフトウェアの販売を行う。
- 2017/3通期は、売上高が前期比7.6%増の16.29億円、経常利益が同54.6%減の2,015.4万円、当期純利益が同55.7%減の1,939.5万円となった。
- 2018/3通期会社計画は売上高が同10.9%増の18.07億円、経常利益が同2.3倍の4,622.6万円、当期純利益が同55.8%増の3,022.6億円である。

## What is the news?

同社は、2次元、3次元のCAD環境を保有し工作機械メーカー、自動車関連メーカーのニーズに応じて、設計、解析、データ変換やマルチメディアコンテンツ制作などの技術・製品を提供している。開発パートナーとして日本国内の製造業向けに設計から生産までのモノづくりプロセスを設計・解析している。高度な専門技術をもった技術者の派遣や受託開発も行っている。同社は、国内で多くの大手メーカーと長いパートナーシップを持ちながら、機械、情報・通信、自動車・輸送機器、電気機器など幅広い業界向けに事業を展開している。

同社は、情報処理請負事業、技術者派遣事業やプロダクト販売事業を展開している。主力の情報処理請負事業は2次元、3次元のCAD環境を50台保有し、メーカーからの業務を受託し製品の設計、解析などの技術を提供し、3DCADデータ及び流体解析データ等を納入する業務契約である。同事業の売上高が全体の約5割を占めている。技術者派遣事業は主力分野である機械設計において、情報・通信、自動車・輸送機器などの企業に専門性の高い技術者を派遣し、現場で企業の開発活動を支援している。同事業の売上高割合が4割超である。特に同社傘下の株式会社横芝はIT技術者派遣を専門している。また、プロダクト販売事業はハードウェアとソフトウェアの販売を行っている。同社はハードウェアの売上高構成比が高いが、IoTやAIなど先端技術の進化に伴い、利益率を高めるために、将来的にハードウェアとソフトウェアの売上高構成比の逆転を目指している。

## How do we view this?

同社の売上高は、2016/3通期が同8.4%増の15.92億円、2017/3通期が同2.3%増の16.29億円と安定的な増収基調にある。今後、同社は利益率の高い技術者派遣事業を強化するため20-30名/年の新規採用を目指しており、売上高への寄与が期待される。2018/3通期会社計画は、売上高が同10.9%増の18.07億円、経常利益が同2.3倍の4,622.6万円、当期利益が同55.8%増の3,022.6万円である。

## 業績推移

事業年度	2015/3	2016/3	2017/3	2018/3F
売上高(百万円)	1,469.19	1,592.14	1,629.31	1,807.37
経常利益(百万円)	3.79	21.84	20.15	46.22
当期純利益(百万円)	2.93	20.90	19.39	30.22
EPS(円)	3.63	25.89	24.02	37.43
PER(倍)	136.36	19.12	20.61	13.22
BPS(円)	-37.78	-11.89	12.12	-
PBR(倍)	-	-	40.84	-
配当(円)	0.00	0.00	6.00	-
配当利回り(%)	-	-	1.21	-

(出所: 会社公表資料をもとにフィリップ証券作成、F=会社予想)

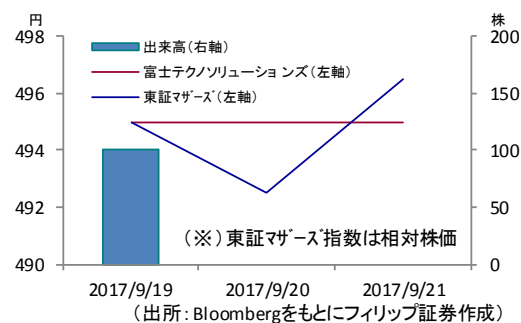
配当予想(円) 未定 (会社予想)  
 株価(円) 495 2017/9/20(基準値)

## 会社概要

1996/7月に資本金200万円で有限会社「富士商会」を設立、PC関連商品の販売から創業した。現在は製造業のものづくりを支援し、3DCADで自動車、機械、電気などの設計、解析の受託開発などを行う。メーカーの開発パートナーとして、モノづくりのさまざまなプロセスにおいてワンストップでサポートするソリューションを提供。情報処理請負事業、技術者派遣事業とプロダクト販売事業を展開している。また、同社は、IT技術者派遣の専門会社「横芝」、3Dプリンタなど各種プロダクト、システムの販売専門会社「エフティ・ファインテックプロダクト」を傘下に収めている。

同社は2004年にISO9001:2000認証を取得し、2006年に技術本部がISO/IEC27001:2005認証を取得した。2013/7から本社及びサポートソリューションセンター、厚木テクニカルセンターを厚木市に移転した。また、名古屋と大阪に事務所を設置している。2017/9/19にTOKYO PRO Marketに上場した。

## 企業データ



## 主要株主 (2017/8/16)

株主名	(%)
1. 高井 男	50.67
2. 原田 久仁子	12.81
3. 高井 澄子	5.76

(出所: 会社公表資料をもとにフィリップ証券作成)

## アナリスト

## 袁 鳴

ming.yuan@phillip.co.jp  
 +81 3 3666 0707

## 庵原 浩樹

hiroki.i.hara@phillip.co.jp  
 +81 3 3666 6980

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元：フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者：公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員 庵原浩樹

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則（平14.1.25）」に基づく告知事項>

1. 本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。
2. 当社は、東京証券取引所の定める「特定上場有価証券に関する上場規程の特例」（以下「特例」）第102条の規定に基づき、発行会社の担当 J-Adviser に就任する旨の契約を締結いたしております。また、当社は、「特例」第135条に定める流動性プロバイダーであり、発行会社株式の円滑な流通の確保に努めるほか、流動性プロバイダーとしての義務を負っております。